

桜物語

染井の里 駒込
染井よしの桜の里駒込協議会
Komagome Sakura Story



ソメイヨシノのまち駒込
桜と名所を訪ねて
ぶらりと散歩しませんか？



嘉永7年(1854)染井・王子・巢鴨辺図 豊島区立郷土資料館蔵

老舗の味 季節の味

御菓子司 中里

南蛮焼・揚最中
駒込駅東口1分
営業時間：平日10:00~18:00 土祝10:00~17:00(日曜休)
☎03-3823-2571

CoCo老番屋 豊島区駒込店

TEL 03-5961-6855 FAX 03-5961-6855
〒170-0003
東京都豊島区駒込二丁目6番4号ムツビル1階

野菜・果物のことなら
霜降銀座 中央
(株)細野商店
TEL.03(3910)4668
FAX.03(3910)4160

Chef Daniel's
駒込駅から徒歩2分の小さなイタリアン
お一人でも大切な方とご一緒でも
シェフ特製のピザやパスタを
お楽しみください。
English menu available
豊島区駒込 3-3-16 → chef.danielstokyo@gmail.com

お買い物は地元で安心
KOMA GOME
駒込さつき通り
駒込銀座商店街

駒込の老舗チョコレートメーカー
芥川製菓 池袋ISP直営店
創業1886年
伝統の味をどうぞ
☎03-5955-7311
JR池袋駅より徒歩1分
豊島区南池袋1-29-1 ISP南館
https://www.akutagawaseika.co.jp

JR東日本ホテルメッツ 駒込
JR駒込駅南口から徒歩1分

JR-EAST
HOTEL
METS
KOMAGOME

〒170-0003 東京都豊島区駒込2-1-39
https://www.hotelmets.jp/komagome/
☎03-5319-0011 Fax 03-5319-0015

Sakagami
Quality Foods Market
Grand Nagas
Natural Quality of Life
~太陽と大地の恵みを子どもたちへ~
おいしく健康にこだわり、
食の楽しさをお伝えしたい。
身近だけど高品質、
そんなスーパーマーケットです。
サカガミ 駒込本店 豊島区駒込6-35-1
TEL 03-3918-5355
HP https://www.sakagami-cl.co.jp

SUGAMO SHINKIN
ホスピタリティ
私たちがとってのホスピタリティは、
「人に対する優しさや思いやりを心根にもつことです。」
橋はれることに喜びを
巢鴨信用金庫
駒込支店 駒込3-3-20 ☎03-3918-1201

かわらないうづけた百年
小松庵総本店 駒込本店 六義園染井門前
東京都豊島区駒込1-43-16 Tel.03-3944-8385
イラスト 嶋崎美次 https://komagome.komatuan.com/

染井の植木屋たち
万延元年(1860)に来日したイギリスの植物学者
ロバート・フォーチュンは、上駒込村染井の植木屋に
ついて、その著「江戸と北京」の中で次のように述べて
いる。「染井村の社観」部分。「交互に樹々や庭、
恰好よく刈り込んだ生垣がつづいて、公園のよう
な景色に来たとき、随行の役人が染井村にやど着
いた、と報せた。その村全体が多くの苗圃で網羅
され、それらを連絡する一直線の道が、1マイル以上
も続いている。私は世界のどこへ行っても、こんなに
大規模に、売物の植物を栽培しているのを見たこと
がない。植木屋はそれぞれ、3、4エーカー(約4000坪)
の地域を占め、鉢植えや露地植えのいずれも、数千
の植物がよく管理されている。(後略)」

文中の「一直線の道」とは、駒込駅方面(上図
「松平時之助」右上部分)から染井霊園(上図「建
部内匠頭」部分)へと続く現在の染井通りを指して
いる。江戸時代後半期の染井通り沿いには多くの
植木屋が集住し、それぞれが植木や鉢植えを栽
培・販売していたわけである。
日本を代表する桜の品種として知られているソメイ
ヨシノは、染井の地が発祥とされている。長年に
わたる植木屋たちの活躍により、この地で新たな品
種が誕生する素地が形成されていたのである。

【豊島区立郷土資料館蔵】

染井吉野発祥の地* 通年お花見カフェ
桜キッチンカフェ
10:30-17:30 火・水 定休
1F テラスベットのOK、2F キッズ小上がり席
3F 屋上 電車を見下ろすくつろぎのテラス

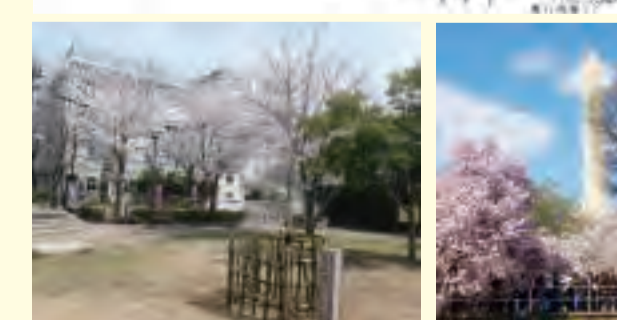
染井吉野 発祥の地 駒込

東京で代表的なさくらといえば、
ソメイヨシノ(染井吉野)。
その発祥の地は、江戸染井村です。
現在の豊島区駒込です。
ソメイヨシノは、オオシマザクラと
エドヒガンザクラの交配種と言われており、
幕末に誕生しました。
明治時代には、奈良吉野山の山桜との
混同を避けるため、
染井吉野という名前がつけました。

- 染井よしの桜の里駒込協議会
駒込第一町会、駒込二丁目親和町会
駒込三丁目町会、染井よしの町会
駒込六丁目東文化会、駒込七丁目町会
アザレア通り商店会、駒込駅前通り商店街
駒込銀座商店街、染井銀座商店街
第10地区青少年育成委員会
駒込小学校PTA、駒込中学校PTA
駒込まちづくり協議会
区民ひろば駒込運営委員会
ソメイヨシノを育てる会
(高齢者クラブ)さくら会、七福会

編集・発行 — 染井よしの桜の里駒込協議会
発行 — 令和8年3月
後援 — 豊島区
活動支援 — 公益財団法人としま未来文化財団
一般社団法人豊島区観光協会
印刷 — 株式会社プラナ
デザイン — 上野華恵
表紙錦絵 — 「飛鳥山花見之図」歌川広重
東京都立図書館提供

懐かしい都電のある駒込の風景



門と蔵のある広場のソメイヨシノ ポトマック河畔の桜

門と蔵のある広場にある
ワシントンDCから帰る桜について
1912年に日米の友好の証として、日本からワシントンDCにソメイ
ヨシノをはじめとする桜の苗木が贈られました。苗木が植えられた
ポトマック河畔は、アメリカで有名な桜の名所となりました。
寄贈からおよそ100周年を迎えた2015年3月、(公財)日本さくら
の会より、ソメイヨシノ発祥の地である駒込に、ワシントンDCの桜
の苗木を贈呈いただき、石碑が立てられました。

Toshima-kioku NPO法人(特定非営利活動法人)
「としまの記憶」をつなぐ会
https://movie.toshima-kioku.jp

スマホをQRにかざすと「駒込語り部たち」が
昔の駒込の思い出、様子を語る映像が流れます。

NPO法人「としまの記憶」をつなぐ
会(平成24年設立)。戦前から戦後そ
して令和へと駒込に根差す人々の生活・
想い・懐かしい記憶「9話」「記憶の遺産
2013」より)をご紹介します。地域への温か
い気持ちで溢れています。

「としまの記憶」動画アーカイブ「駒込」

駒込再開発と都電車庫 原口時夫さん	駒込の空襲 原口時夫さん
駒込地区の都電の車庫は 絶好の遊び場だった。 都電の思い出とともに、 車庫がなくなったあと、 地区発達の為に動いた住 民パワーについて語る。	駒込から巣鴨そして池袋 までのB29の空襲に遭 い、焦土化した。そんな 中、もともと身体は丈夫 な子どもではなかったが 元気に生き延びてきた。
藤堂家の裏門 金井皓子さん	石像のウワサと駒込の変化 金井皓子さん
藤堂家に入りして 植木屋の先祖は裏門を下 廻された。昔はその門に 乗り遊ぶ子どももいた。 公園を作るに当たって現 在の位置に曳家した。	焼野原にあった背の高 い石仏があり「動かすと 祟る」と言われ怖かった。 藤堂高虎が朝鮮征伐の帰 りに、船底に置いて積ん できたものらしい。

商店街で買物をして
ポイントを貯めよう!
そめいmyカード会員募集中!!
染井銀座商店街サービスセンター
豊島区駒込6-28-6 ☎03-3915-3234

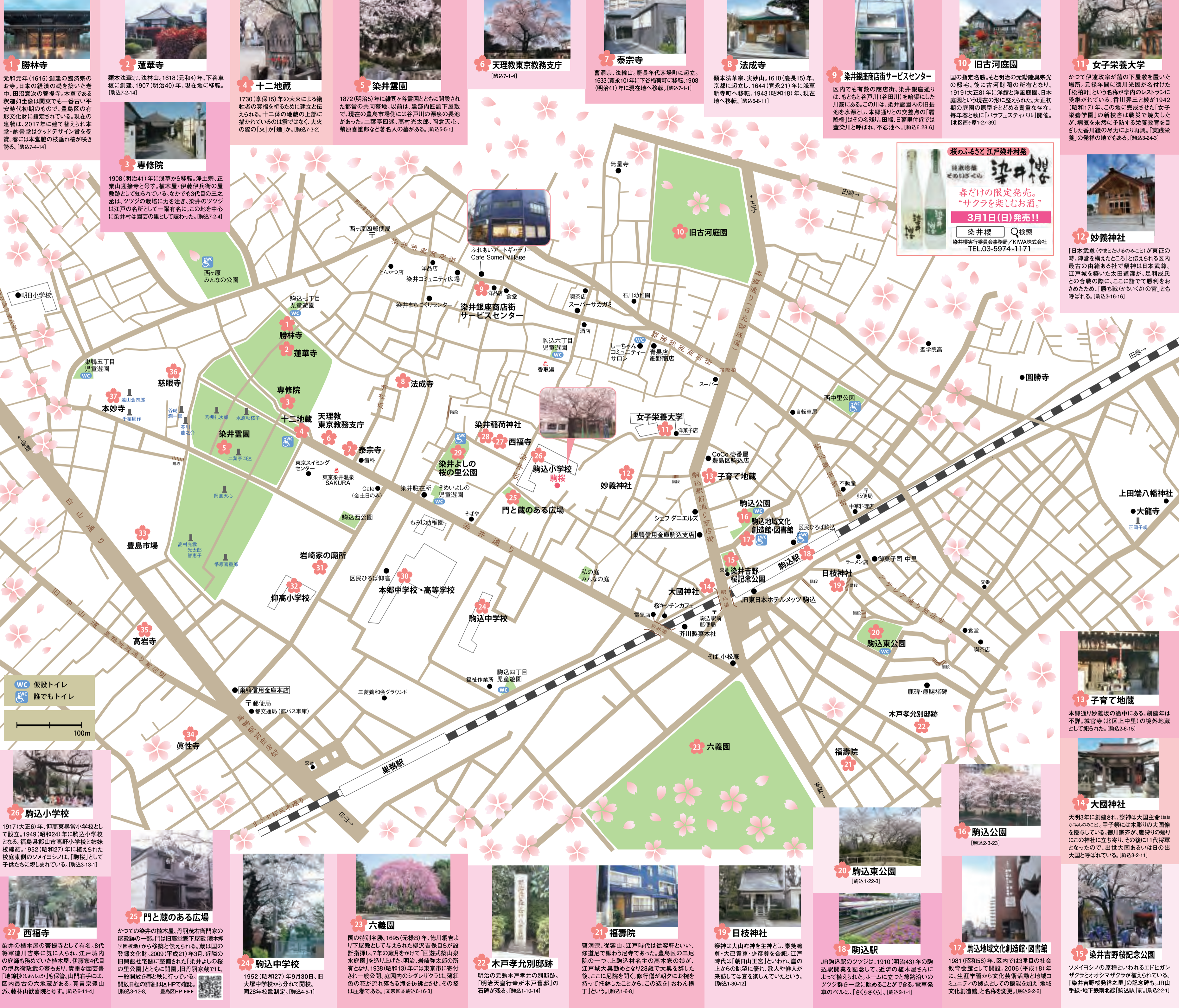
スマホをQRにかざすと「駒込語り部たち」が
昔の駒込の思い出、様子を語る映像が流れます。

孫娘が語る芥川製菓 安島里子さん	昭和、駒込の原っぱ 安島里子さん
豊島区の名品に選ばれた 芥川製菓のチョコレート は、当時は、特別な食べ 物だった。人々の口へ届 くために努力をかきた 会社の歴史がある。	子ども達にとって遊び場 だった原っぱは小さい丘 でタンポポも咲いていた。 紙芝居や風あけの思い出。 そして古き昭和時代の 親の顔について語る。
伊達家屋敷を受け継ぐ女子栄養大学 香川芳子さん	人情の町、昭和の駒込 安島里子さん
女子栄養大学の場所は、 昔、伊達政宗の下屋敷で 水戸黄門がよく遊びに来 たという。黄門様が椎の 木を植えられ、それは「黄 門権」と呼ばれる。	ゴザ敷いて夏の「青空映 画会」で見た活動写真や ラジオ体操などの小学校 の思い出。どんな時にも 人情味溢れる駒込には子 どもの声が聞こえた。
染井通りとソメイヨシノ 金井皓子さん	
江戸時代には植木屋が多 く、特に染井吉野を作った 伊藤伊兵衛は有名な。染井 通り沿いにあった松平家 の家屋敷の堀の穴から 皆で潜り込み遊んだ。	

駒込 染井

お散歩マップ

Stroll Map



1 勝林寺
元和元年(1615)創建の臨済宗のお寺。日本の経済の礎を築いた老中、田沼意次の菩提寺。本尊である釈迦如坐像は関東でも一番古い平安時代初期のもの、豊島区の有形文化財に指定されている。現在の建物は、2017年に建て替えられ本堂・納骨堂はグッドデザイン賞を受賞。春には本堂脇の枝垂れ桜が咲き誇る。【駒込7-4-14】

2 蓮華寺
願本法華宗、法林山。1618(元和4)年、下谷草坂に創建。1907(明治40)年、現在地に移転。【駒込7-2-14】

4 十二地蔵
1730(享保15)年の大火による犠牲者の冥福を祈るために建立と伝えられる。十二地の地蔵の上部に描かれているのは雲ではなく、大火の際の「火」が「煙」か。【駒込7-3-2】

5 染井霊園
1872(明治5)年に雑司が谷霊園とともに開設された都営の共同墓地。以前は、建部内匠頭下屋敷で、現在の豊島市場側には谷戸川の源泉の長池があった。二葉亭四迷、高村光太郎、岡倉天心、幣原喜重郎など著名人の墓がある。【駒込5-5-1】

6 天理教東京教務支庁
【駒込7-1-4】

7 泰宗寺
曹洞宗、法輪山。慶長年代茅場町に起立。1633(寛永10)年に下谷稲荷町に移転。1908(明治41)年に現在地へ移転。【駒込7-1-1】

8 法成寺
願本法華宗、実妙山。1610(慶長15)年、京都に起立し、1644(寛永21)年に浅草新寺町へ移転。1943(昭和18)年、現在地へ移転。【駒込6-8-11】

9 染井銀座商店街サービスセンター
区内でも有数の商店街、染井銀座通りはもともと谷戸川(谷田川)を暗渠にした川筋にある。この川は、染井霊園内の旧長池を水源とし、本郷通りとの交差点の「霜降橋」はその名残り、田端、日暮里付近は藍染川と呼ばれ、不忍池へ。【駒込6-28-6】

10 旧古河庭園
国の指定名勝。もと明治の元勳陸奥宗光の邸宅。後に古河財閥の所有となり、1919(大正8)年に洋館と洋風庭園、日本庭園という現在の形に整えられた。大正初期の庭園の原型をとどめる貴重な存在。毎年春と秋に「パフェスティバル」開催。【北区西ヶ原1-27-39】

11 女子栄養大学
かつて伊達政宗が藩の下屋敷を置いた場所。元禄年間(徳川光圀が名付けた「松栢軒」という名称が学内のレトリックに受け継がれている。香川昇三蔵が1942(昭和17)年、この地に完成させた「女子栄養学園」の新校舎は震災で焼失したが、病気を未然に予防する養育教育を目指した香川昇の尽力により再興。「実践栄養」の発祥の地でもある。【駒込3-24-3】

3 専修院
1908(明治41)年に浅草から移転。浄土宗、正業山迎接寺と号す。植木屋・伊藤伊兵衛の屋敷跡として知られている。なかでも3代目の三之丞は、ツツジの栽培に力を注ぎ、染井のツツジは江戸の名所として一躍有名に。この地を中心に染井村は園芸の里として賑わった。【駒込7-2-4】

36 慈眼寺
1615(元和元)年、深川に建立。1912(大正元)年、現在地に移転。芥川龍之介、谷崎潤一郎、司馬江漢らの墓がある。日蓮宗、正寿山。【駒込5-35-33】

37 本妙寺
法華宗、徳栄山。1571(元龜2年)に駿河に創建。その後各所を移転し、1910(明治43)年、本郷丸山から現在地へ移転。遠山金四郎、千葉周作、歴代本因坊らの墓がある。久世家歴代の墓所、明應の大火の供養塔もある。【駒込5-35-6】

34 眞性寺
真言宗豊山派、医王山。開基は不明。1615(元和元)年に中興された。享保年間(1716~36)に深川の地蔵坊正元の発願で江戸の諸街道筋に設けられた「江戸六地蔵」の第三番。入口付近に芭蕉の句碑がある。【駒込3-21-21】

35 高岩寺
どけぬき地蔵で知られる。曹洞宗、萬頂山。本尊は地蔵菩薩(延命地蔵)。1596(慶長元)年に神田湯島に創建。のちに下谷屏風坂(現岩倉高校)に移る。1891(明治24)年、巢鴨に移転。【駒込3-35-2】

32 仰高小学校
豊島区で最も歴史のある小学校。1876(明治9)年に、現在の文京区本駒込の長壽寺で開校。校名の「仰高」は、談話から名付けられた。【駒込5-1-19】

33 豊島市場
1937(昭和12)年、東京市中央卸売市場の豊島分場として開業。江戸時代は、幕府管理下の薬用植物を栽培する巢鴨園があった場所。豊島市場のものは、16世紀中頃、駒込天栄寺(文京区)の境内の「さいか」の木の下の下で分荷したのが始まりで、都内最古の市場と伝えられる。【駒込5-1-5】

31 岩崎家の廟所
【駒込5-3】

30 本郷中学校・高等学校
旧高松藩主松平頼聰の子、頼壽氏により、1923(大正12)年、創立。学園の敷地は、津藩(三重県)の藩家下屋敷跡。染井の植木屋・伊藤伊兵衛は藩家出入の職人であった。【駒込4-11-1】

29 染井よしの桜の里公園
園内には、ソメイヨシノやエドヒガン等の様々な種類の桜が植えられている。公園の隣にはソメイヨシノの苗床がある。【駒込6-3-1】

28 染井稲荷神社
旧上駒込村の字染井の鎮守。江戸時代は西福寺が別当だった。本殿には、俵藤太むかで退治の絵馬がある。二神体は土地面観音石像。祭神は、保食神、大山祇命。【駒込6-11-6】

26 駒込小学校
1917(大正6)年、仰高東尋常小学校として設立。1949(昭和24)年に駒込小学校となる。福島県郡山市高野小学校と姉妹校締結。1952(昭和27)年に植えられた校庭東側のソメイヨシノは、「駒校」として子供たちに親しまれている。【駒込3-13-1】

25 門と蔵のある広場
かつての染井の植木屋、丹羽茂右衛門家の屋敷跡の一部。門は旧藤堂下屋敷(現本郷学園校地)から移築と伝えられる。蔵は国の登録文化財。2009(平成21)年3月、近隣の旧興銀社宅跡に整備された「染井よしのの里公園」とともに開園。旧丹羽家蔵では、一般開放を春と秋に行っている。開放日程の詳細は区HPで確認。【駒込3-12-6】 豊島区HP▶▶▶

24 駒込中学校
1952(昭和27)年9月30日、旧大塚中学校から分れて開校。同28年校歌制定。【駒込4-5-1】

23 六義園
国の特別名勝。1695(元禄8)年、徳川綱吉より下屋敷として与えられた柳沢吉保自らが設計指揮し、7年の歳月をかけて「回遊式築山泉水園」を造り上げた。明治、岩崎弥太郎の所有となり、1938(昭和13)年には東京市に寄付され一般公開。庭園内のシダレザラは、薄紅色の花が流れ落ちる滝を彷彿とさせ、その姿は圧巻である。【文京区本駒込6-16-3】

21 福壽院
曹洞宗、從容山。江戸時代は從容軒といひ、修道尼で賑わう尼寺であった。豊島区の三尼院の一つ。上駒込村名主の高木家の娘が、江戸城大奥勤王となり28歳で大奥を辞した後、ここに尼院を開く。修行僧が朝夕にお供を持って鉢鉢したことから、この地を「おわん横丁」といふ。【駒込1-6-8】

19 日枝神社
祭神は大山咋神を主神とし、素戔鳴尊・大己貴尊・少彦尊を合祀。江戸時代は「朝日山王宮」といわれ、崖の上からの眺望に優れ、歌人や俳人が来訪しては宴を楽しんでいたといふ。【駒込1-30-12】

18 駒込駅
JR駒込駅のツツジは、1910(明治43)年の駒込駅開業を記念して、近隣の植木屋さんによって植えられた。ホームに立つと線路沿いのツツジ群を一望に眺めることができる。電車発車のベルは、「さくらさくら」。【駒込2-1-1】

17 駒込地域文化創造館・図書館
1981(昭和56)年、区内では3番目の社会教育館として開設。2006(平成18)年に、生涯学習から文化芸術活動と地域コミュニティの拠点としての機能を加え「地域文化創造館」と名称を変更。【駒込2-2-2】

15 染井吉野桜記念公園
ソメイヨシノの原種といわれるエドヒガンザクラとオオヤマザクラが植えられている。「染井吉野桜発祥の里」の記念碑も、JR山手線・地下鉄有楽町線(駒込駅)前。【駒込2-2-1】

14 大國神社
天明3年に創建され、祭神は大國主命(伊弉諾大神)。甲子祭には木彫りの大國像を授与している。徳川家者が、鷹狩りの御りにこの神社に立ち寄り、その後に11代将軍となったので、出世大國あるいは日の出大國と呼ばれている。【駒込2-3-11】

13 子育て地蔵
本郷通り妙義坂の途中にある。創建年は不詳。城官寺(北区上中區)の境外地蔵として祀られた。【駒込2-6-15】

12 妙義神社
「日本武尊(やまとたけるのみこと)が東征の時、陣営を構えたところ」と伝えられる区内最古の由緒ある社で祭神は日本武尊。江戸城を築いた太田道灌が、足利成氏との合戦の際に、ここに詣って勝利をおさめたため、「勝ち戦(かちいくさ)の宮」とも呼ばれる。【駒込3-16-16】

11 女子栄養大学
かつて伊達政宗が藩の下屋敷を置いた場所。元禄年間(徳川光圀が名付けた「松栢軒」という名称が学内のレトリックに受け継がれている。香川昇三蔵が1942(昭和17)年、この地に完成させた「女子栄養学園」の新校舎は震災で焼失したが、病気を未然に予防する養育教育を目指した香川昇の尽力により再興。「実践栄養」の発祥の地でもある。【駒込3-24-3】

10 旧古河庭園
国の指定名勝。もと明治の元勳陸奥宗光の邸宅。後に古河財閥の所有となり、1919(大正8)年に洋館と洋風庭園、日本庭園という現在の形に整えられた。大正初期の庭園の原型をとどめる貴重な存在。毎年春と秋に「パフェスティバル」開催。【北区西ヶ原1-27-39】

9 染井銀座商店街サービスセンター
区内でも有数の商店街、染井銀座通りはもともと谷戸川(谷田川)を暗渠にした川筋にある。この川は、染井霊園内の旧長池を水源とし、本郷通りとの交差点の「霜降橋」はその名残り、田端、日暮里付近は藍染川と呼ばれ、不忍池へ。【駒込6-28-6】

8 法成寺
願本法華宗、実妙山。1610(慶長15)年、京都に起立し、1644(寛永21)年に浅草新寺町へ移転。1943(昭和18)年、現在地へ移転。【駒込6-8-11】

7 泰宗寺
曹洞宗、法輪山。慶長年代茅場町に起立。1633(寛永10)年に下谷稲荷町に移転。1908(明治41)年に現在地へ移転。【駒込7-1-1】

6 天理教東京教務支庁
【駒込7-1-4】

5 染井霊園
1872(明治5)年に雑司が谷霊園とともに開設された都営の共同墓地。以前は、建部内匠頭下屋敷で、現在の豊島市場側には谷戸川の源泉の長池があった。二葉亭四迷、高村光太郎、岡倉天心、幣原喜重郎など著名人の墓がある。【駒込5-5-1】

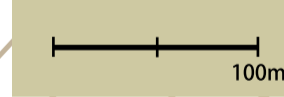
4 十二地蔵
1730(享保15)年の大火による犠牲者の冥福を祈るために建立と伝えられる。十二地の地蔵の上部に描かれているのは雲ではなく、大火の際の「火」が「煙」か。【駒込7-3-2】

3 専修院
1908(明治41)年に浅草から移転。浄土宗、正業山迎接寺と号す。植木屋・伊藤伊兵衛の屋敷跡として知られている。なかでも3代目の三之丞は、ツツジの栽培に力を注ぎ、染井のツツジは江戸の名所として一躍有名に。この地を中心に染井村は園芸の里として賑わった。【駒込7-2-4】

2 蓮華寺
願本法華宗、法林山。1618(元和4)年、下谷草坂に創建。1907(明治40)年、現在地に移転。【駒込7-2-14】

1 勝林寺
元和元年(1615)創建の臨済宗のお寺。日本の経済の礎を築いた老中、田沼意次の菩提寺。本尊である釈迦如坐像は関東でも一番古い平安時代初期のもの、豊島区の有形文化財に指定されている。現在の建物は、2017年に建て替えられ本堂・納骨堂はグッドデザイン賞を受賞。春には本堂脇の枝垂れ桜が咲き誇る。【駒込7-4-14】

WC 仮設トイレ
誰でもトイレ



桜のふるさと 江戸染井村発
健康地蔵 そのめいくら 染井櫻
春だけの限定発売。
“サクラを楽しむお酒。”
3月1日(日)発売!!
染井櫻
染井櫻実行委員会事務局/KIWA株式会社
TEL.03-5974-1171



12 妙義神社
「日本武尊(やまとたけるのみこと)が東征の時、陣営を構えたところ」と伝えられる区内最古の由緒ある社で祭神は日本武尊。江戸城を築いた太田道灌が、足利成氏との合戦の際に、ここに詣って勝利をおさめたため、「勝ち戦(かちいくさ)の宮」とも呼ばれる。【駒込3-16-16】



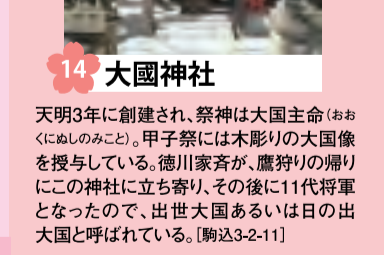
13 子育て地蔵
本郷通り妙義坂の途中にある。創建年は不詳。城官寺(北区上中區)の境外地蔵として祀られた。【駒込2-6-15】



14 大國神社
天明3年に創建され、祭神は大國主命(伊弉諾大神)。甲子祭には木彫りの大國像を授与している。徳川家者が、鷹狩りの御りにこの神社に立ち寄り、その後に11代将軍となったので、出世大國あるいは日の出大國と呼ばれている。【駒込2-3-11】



15 染井吉野桜記念公園
ソメイヨシノの原種といわれるエドヒガンザクラとオオヤマザクラが植えられている。「染井吉野桜発祥の里」の記念碑も、JR山手線・地下鉄有楽町線(駒込駅)前。【駒込2-2-1】



16 駒込公園
【駒込2-3-23】

